

第2節

学びと協働による 区民文化づくり

- 1 人生を豊かにする生涯学習
 - (1)時代にふさわしい生涯学習機会の提供
 - (2)生涯学習の裾野を広げるしくみづくりと学習成果の活用
- 2 江戸川区の良さを活かしたボランティア活動とコミュニティ活動
 - (1)ボランティア立区の推進
 - (2)時代にふさわしいコミュニティの形成
- 3 創造性豊かな江戸川文化
 - (1)「江戸川文化」の創造
- 4 男女共同参画社会の推進
 - (1)性別に関係しない機会平等の社会づくり
- 5 世界の人々との交流と共生
 - (1)「地球人」の意識づくり
 - (2)世界からの人々が共生する地域社会の構築
 - (3)世界平和のためのまちづくり
- 6 安心できる消費生活
 - (1)安心できる消費生活への支援
 - (2)参加型消費者の支援

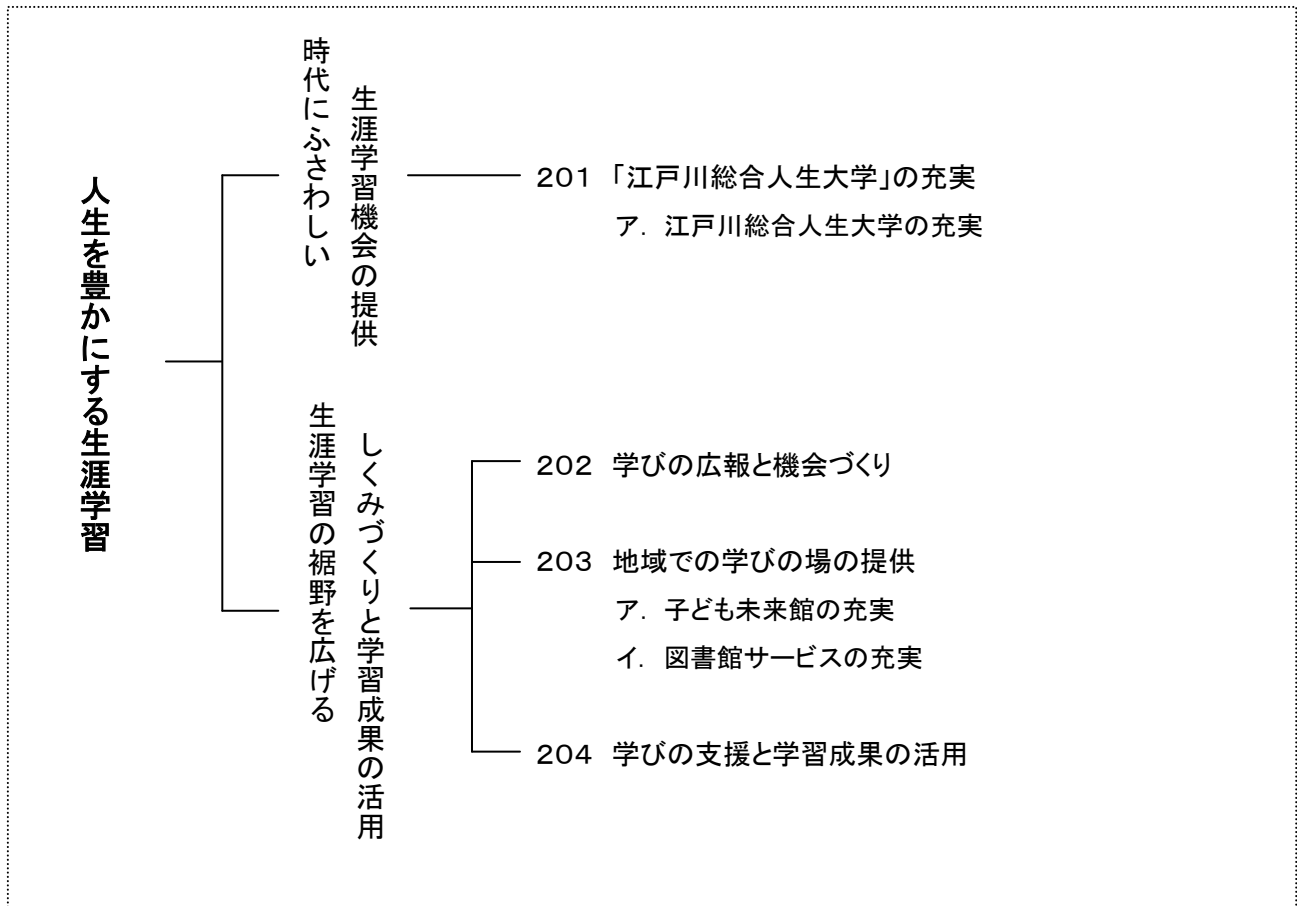
1 人生を豊かにする生涯学習

【施策の考え方】

豊かな人生とより良い地域社会を目指し、多くの区民が実りある生涯学習に取り組めるように、さまざまな学習の場及び機会を提供します。

また、情報の提供、相談サービス、図書館等の施設の充実等、区民の自主的な学習活動を支援するための環境づくりを行います。さらに、学習する人々の励みにもなり、地域の教育力の向上、活性化等にも繋がるよう、学習によって得られた知識、技術、経験等を活かして地域社会に寄与できるよう支援します。

【施策体系図】



(1)時代にふさわしい生涯学習機会の提供

201 「江戸川総合人生大学」の充実

江戸川総合人生大学でかけがえのない仲間をつくり、活力ある地域社会実現の一員となるよう、必要に応じてカリキュラム等を見直し、より実効性の高い内容に努めます。また、卒業生に対しては、地域でさまざまな活動をするために必要な情報提供や相談などを行い、積極的な活動に繋がるよう支援していきます。

施策コード	201	年次計画		
		30年度(2018年度)	31年度(2019年度)	32年度(2020年度)
計画事業内容	江戸川総合人生大学の充実	学生生活の充実 地域活動の支援	同左	同左
事業費		44,293千円	※※※千円	※※※千円

(2)生涯学習の裾野を広げるしくみづくりと学習成果の活用

202 学びの広報と機会づくり

一人でも多くの区民が生涯学習に参加できるように、情報技術等の活用を図り、総合人生大学、国、都、民間機関等が実施する講座等を紹介しします。また、気軽に学びを体験できる機会の提供に努めます。さらに、生涯学習の裾野を広げるために、実際に学んでいる人が、学びの楽しさ、充実感等を周囲の人に伝えられるよう、その促進を図ります。

203 地域での学びの場の提供

子ども未来館では、ゼミを中心とした半年から通年のプログラムを実施し、子どもの継続的な学び活動を進めます。また、地域の人材に加え大学や企業、研究機関等と積極的に連携し、学校では学びにくい分野の探究型プログラムを開発、実施します。さらに、篠崎子ども図書館との一体的運営を更に進め、充実した理知活動の展開を図ります。

また、時代のニーズに対応した図書資料の充実を努め、区民の様々な情報収集の要求に応えられるよう、高度なレファレンスサービスを提供します。

施策コード	203	年次計画		
		30年度(2018年度)	31年度(2019年度)	32年度(2020年度)
計画事業内容				
子ども未来館の充実		プログラムの充実	同左	同左
事業費		54,514千円	54,514千円	54,514千円
図書館サービスの充実		実施	同左	同左
事業費		197,201千円	197,201千円	197,201千円

204 学びの支援と学習成果の活用

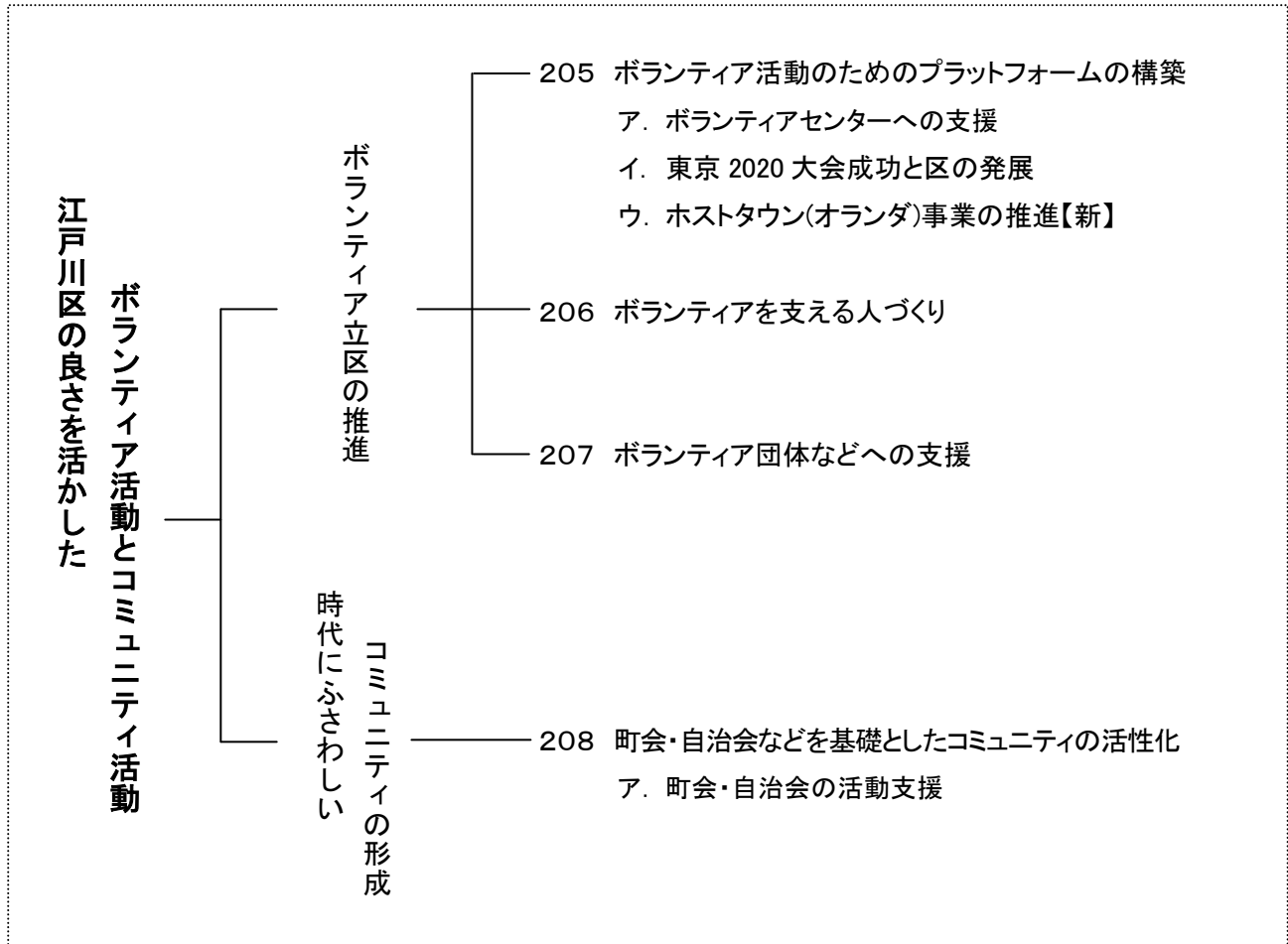
総合人生大学等における学びを契機とした区民の自発的な学習を促進するため、学習サークルを育成し、学習サークル間の連携を促進する等の、学びのネットワークづくりを支援します。また、一定の学びの成果を得た区民が、その成果を発表する場、他の区民に教える機会等の整備に努めます。

2 江戸川区の良さを活かしたボランティア活動とコミュニティ活動

【施策の考え方】

地域社会において、区民の自主的な取り組みを必要とする新たな課題が生じています。このため、区民一人ひとりがボランティアとして、活躍できるようなしくみづくりを行い、自立性の高い、思いやりと支えあいのある、豊かなコミュニティをつくります。また、町会・自治会を基礎としつつ、テーマコミュニティ等、様々なコミュニティが自主的に活発に活動できるような環境を整えます。

【施策体系図】



(1) ボランティア立区の推進

205 ボランティア活動のためのプラットフォーム※の構築

民間活力である「公益財団法人えどがわボランティアセンター」への支援を行うことで、ボランティア活動を活性化させ、ボランティア立区のさらなる推進を図ります。

「東京 2020 オリンピック・パラリンピック競技大会江戸川区推進プログラム」に基づき、本区の更なる発展に向け、スポーツ、教育、まちづくり等各分野での取り組みを推進していきます。また、区民連絡会の開催やカウントダウン記念イベントなどで気運を盛り上げるとともに、区民参画を促進していきます。

ホストタウン事業「江戸川区交流計画」に基づき、パラスポーツを通じた連携事業を中心に、文化・福祉・産業など様々な分野において、オランダ王国との相互交流を進め、地域力の向上を図ります。

※ プラットフォーム: 様々なボランティア活動を支える共通の土台。

施策コード	205	年次計画		
計画事業内容	30年度(2018年度)	31年度(2019年度)	32年度(2020年度)	
公益財団法人えどがわボランティアセンターへの支援	活動支援	同左	同左	
事業費	46,123千円※	※※※千円	※※※千円	
東京2020大会成功と区の発展	実施	同左	同左	
事業費	3,212千円	3,212千円	3,212千円	
ホストタウン(オランダ)事業の推進【新】	実施	同左	同左	
事業費	435千円	435千円	435千円	

※事業費には、各ボランティア団体への活動費助成、各種講座等経費を含みます。

206 ボランティアを支える人づくり

えどがわボランティアセンターと実行委員会が共催でボランティアフェスティバルを開催し、ボランティアの普及・ネットワークづくりに努めます。また、ボランティア活動を支える知識や技能習得の機会を提供するため、えどがわボランティアセンターによる各種ボランティア養成講座や出前ボランティア体験事業等を支援し、人材育成に努めます。

207 ボランティア団体などへの支援

ボランティア活動室の提供やボランティア保険の加入促進等を通じて、区民が安全・安心にボランティア活動を行うことができる環境づくりに努めます。

(2)時代にふさわしいコミュニティの形成

208 町会・自治会などを基礎としたコミュニティの活性化

地域コミュニティの更なる向上に向け、町会・自治会活動が活発に行われるように環境づくりを行います。安全で安心して暮らしていけるよう、地域住民による防災力の向上など区民の自主的な取り組みを側面から支援していきます。

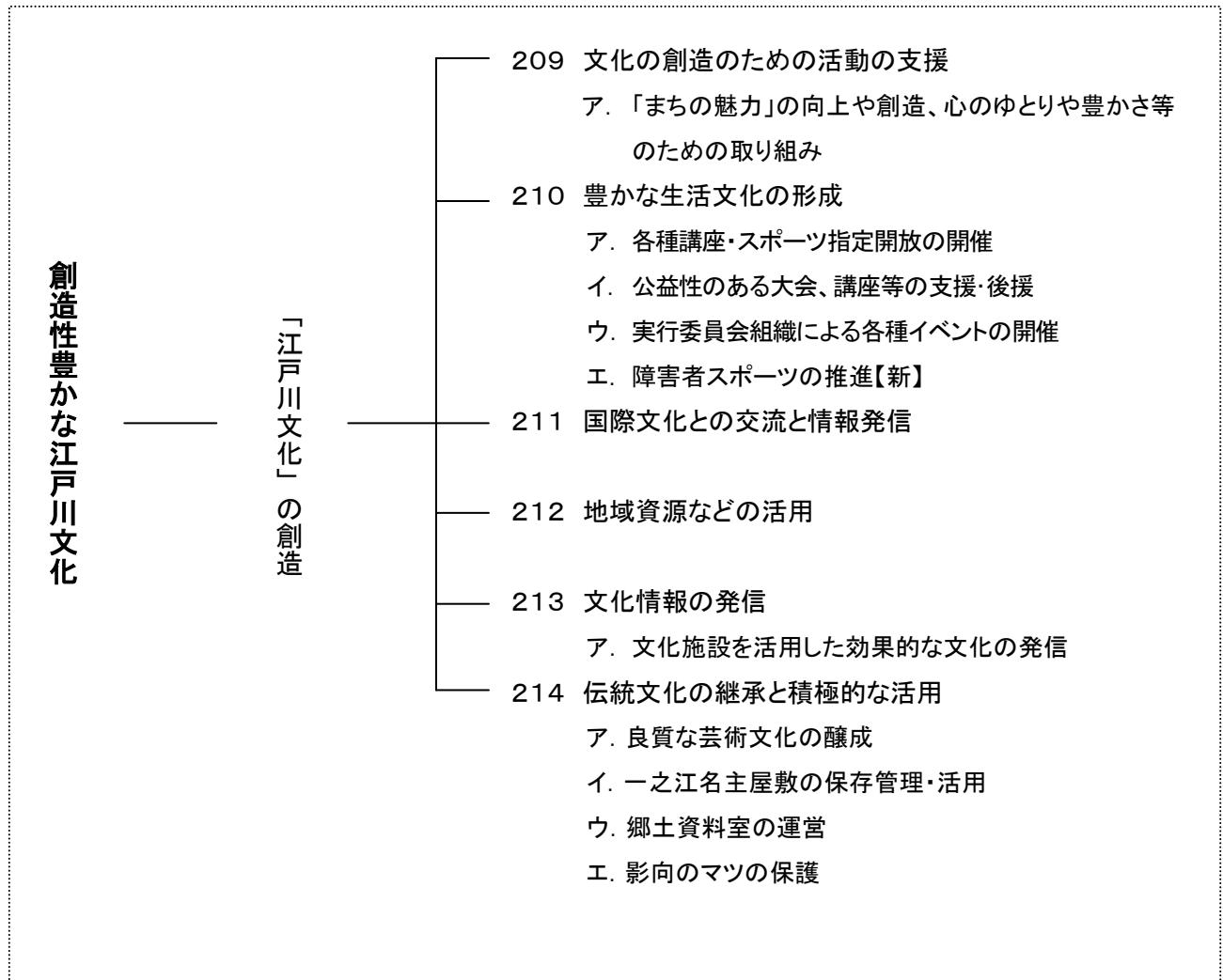
施策コード	208	年次計画		
計画事業内容	30年度(2018年度)	31年度(2019年度)	32年度(2020年度)	
町会・自治会の活動支援	活動支援	同左	同左	
事業費	238,403千円	238,403千円	238,403千円	

3 創造性豊かな江戸川文化

【施策の考え方】

区は、都心から近い位置にありながら、水と緑に恵まれ、地域の中で住み、働き、学び、憩うことができる等、うらおいと楽しさのある魅力的な都市として発展しています。このような中で、文化財、伝統工芸等の伝統文化を継承し、様々な地域の資源、特長等を活かして新たな生活文化を創造し、魅力あふれる「江戸川文化」として世界に向けて発信していく等、創造性豊かな江戸川文化を育みます。

【施策体系図】



(1)「江戸川文化」の創造

209 文化の創造のための活動の支援

区内で活動するサークル連合会等の文化団体の活動支援や、江戸川区文化祭の開催、文化賞等の表彰を通じて、区民の文化向上に努めます。

施策コード	209	年次計画		
		30年度(2018年度)	31年度(2019年度)	32年度(2020年度)
計画事業内容				
「まちの魅力」の向上や創造、心のゆとりや豊かさなどのための取り組み		実施	同左	同左
事業費		20,243千円	20,243千円	20,243千円

210 豊かな生活文化の形成

各種スポーツ講座を開催し、区民の健康・体力づくりや生涯スポーツとして誰もが楽しめるスポーツの普及を図っていきます。また、各種団体と連携し、区民が安心して楽しめるマラソン大会等のスポーツイベントを開催していきます。

また、広報紙等を活用した啓発活動をはじめ、体験教室や指導者講習会等を実施することで、障害者スポーツを推進していきます。

施策コード	210	年次計画		
計画事業内容		30年度(2018年度)	31年度(2019年度)	32年度(2020年度)
各種講座・スポーツ指定開放の開催		開催	同左	同左
事業費		15,543千円	15,543千円	15,543千円
公益性のある大会、講座等の支援・後援		支援	同左	同左
事業費		9,252千円	9,252千円	9,252千円
実行委員会組織による各種イベントの開催		実行委員会による各種イベントの開催	同左	同左
事業費		7,952千円	7,952千円	7,952千円
障害者スポーツの推進【新】		啓発・体験・人材育成事業の実施	同左	同左
事業費		14,318千円	14,318千円	14,318千円

211 国際文化との交流と情報発信

国際的な文化イベントの開催、区民の多彩な文化交流への支援等により、親善及び相互理解が図れる機会を充実するとともに、世界に向けて江戸川文化に関する情報を発信します。

212 地域資源などの活用

区の概要を紹介する冊子を作成し、区の魅力を広く紹介します。また、多くの人々が集まるイベント等の積極的な誘致活動を展開し、地域を舞台とする様々な交流を推進します。

213 文化情報の発信

篠崎文化プラザで開催する企画展示や、タワーホール船堀・総合文化センターで行うコンサートや講座、グリーンパレスで開催する発表会等、文化施設から江戸川区らしい文化の発信を行っていきます。

施策コード	213	年次計画		
計画事業内容		30年度(2018年度)	31年度(2019年度)	32年度(2020年度)
文化施設を活用した効果的な文化の発信		実施	同左	同左
事業費		※※※千円	※※※千円	※※※千円

214 伝統文化の継承と積極的な活用

ひらい圓藏亭における落語会の開催や落語関連講座の開催のほか、多様な文化講演会等を通じ、芸術文化の質の向上を図り、「江戸川文化」の醸成を行っていきます。

都指定史跡、区登録史跡に指定されている一之江名主屋敷を、安定的に維持・保存するため、施設及び景観を計画的に維持補修していくとともに、江戸時代の佇まいをそのまま今に残す貴重な古民家を広く公開するため、季節の催事に合わせた行事を開催していきます。

郷土資料室において、江戸川区の文化財、文化的資料及び伝統工芸等に触れられる場、または学ぶ場として、企画展を開催していきます。また、歴史的に価値のある郷土資料などの収蔵資料を広く公開し活用するため、適切な整理及び保存管理に努めるとともに、必要な補修を行っていきます。

国指定天然記念物である善養寺の影向のマツの、樹勢を回復し維持していくための必要な対策を講じます。

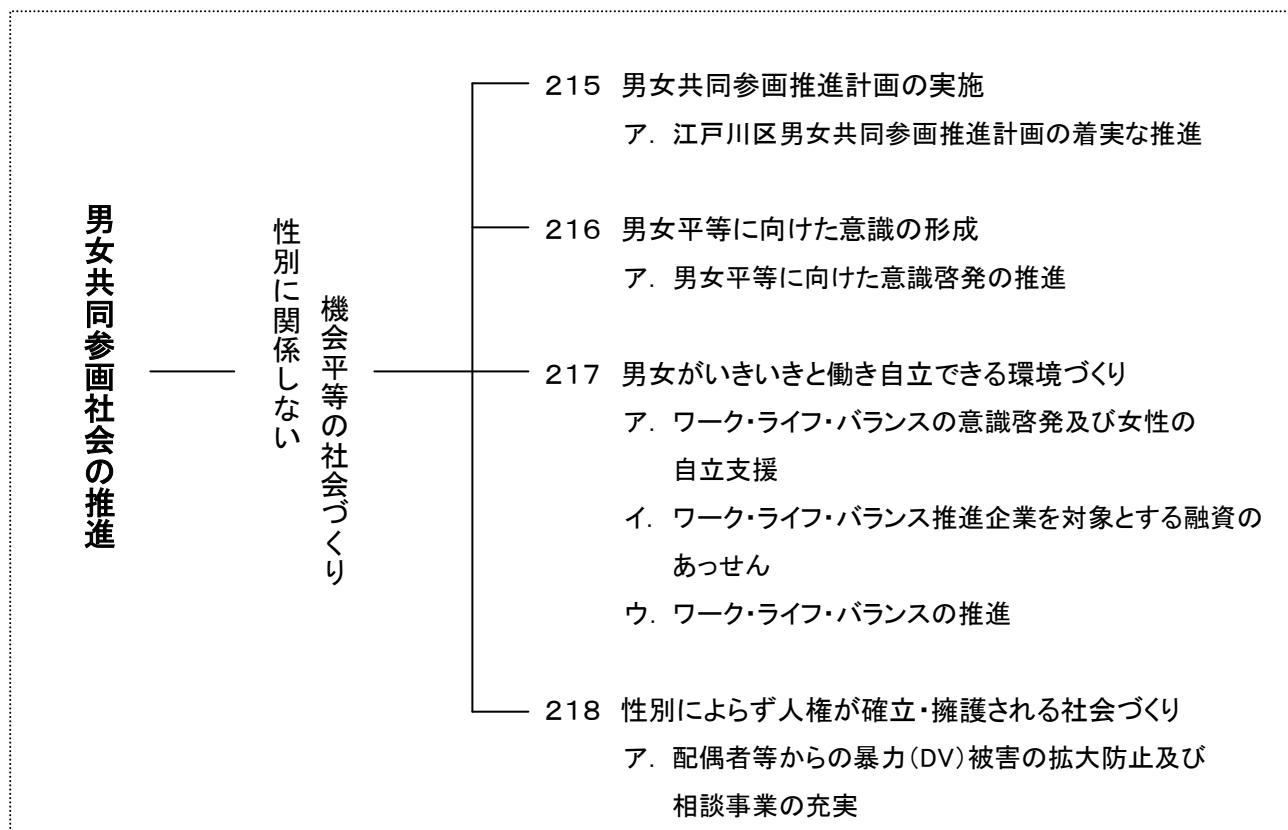
施策コード	214	年次計画		
計画事業内容		30年度(2018年度)	31年度(2019年度)	32年度(2020年度)
良質な芸術文化の醸成		実施	同左	同左
事業費		8,813千円	8,794千円	8,813千円
一之江名主屋敷の 保存管理・活用	施設及び敷地景観 の維持管理		同左	同左
	古民家を活かした 行事の開催		同左	同左
事業費		21,031千円	24,780千円	25,256千円
郷土資料室の運営	企画展の開催		同左	同左
	収蔵品の保存管理 及び公開		同左	同左
事業費		9,066千円	7,472千円	7,588千円
影向のマツの保護		保護・指導	同左	同左
事業費		111千円	111千円	111千円

4 男女共同参画社会の推進

【施策の考え方】

男女がお互いに尊重しあい、その能力と個性を發揮できる地域社会の実現をめざして、男女平等の意識づくりを進め、区民と力を合わせて環境整備を行います。

【施策体系図】



(1)性別に関係しない機会平等の社会づくり

215 男女共同参画推進計画の実施

男女共同参画社会の実現に向けて、区民とともに連携、協働して「江戸川区男女共同参画推進計画」の着実な推進を図ります。

施策コード	215	年次計画		
計画事業内容		30年度(2018年度)	31年度(2019年度)	32年度(2020年度)
江戸川区男女共同参画推進計画の着実な推進		推進	同左	同左
事業費		0千円	0千円	0千円

216 男女平等に向けた意識の形成

男女がともに尊重しあい、それぞれの能力と個性が充分發揮できる社会の実現を目指し、男女共同参画に対する理解を深め、あらゆる分野での参画を進めるべく、意識啓発を継続していきます。

施策コード	216	年次計画		
計画事業内容		30年度(2018年度)	31年度(2019年度)	32年度(2020年度)
男女平等に向けた意識啓発		講演会等の開催 情報誌の発行	同左	同左
事業費		1,087千円	1,087千円	1,087千円

217 男女がいきいきと働き自立できる環境づくり

仕事と家庭生活を両立できるよう、男性の家事・子育て参加を促進するための講座や女性の就労支援講座等の実施、ワーク・ライフ・バランスを推進する企業への融資や表彰などにより、ワーク・ライフ・バランスの意識啓発および女性の活躍を推進します。

施策コード	217	年次計画		
計画事業内容	30年度(2018年度)	31年度(2019年度)	32年度(2020年度)	
ワーク・ライフ・バランスの意識啓発及び女性の自立支援	ワーク・ライフ・バランスや女性の就労支援の講座等の実施	同左	同左	
事業費	456千円	456千円	456千円	
ワーク・ライフ・バランス推進企業を対象とする融資のあっせん	経営向上資金のあっせん	同左	同左	
事業費	—— 千円	—— 千円	—— 千円	
ワーク・ライフ・バランスの推進	ワーク・ライフ・バランス推進協議会の開催	同左	同左	
	産業賞での企業表彰	同左	同左	
事業費	—— 千円	—— 千円	—— 千円	

「ー」:事業費は、中小企業振興事業資金の融資あっせんと保証料・利子の助成(施策コード602)、ワーク・ライフ・バランスの推進(施策コード606)の中で計上しています。

218 性別によらず人権が確立・擁護される社会づくり

男女が互いに人権を尊重しあい、あらゆる暴力をなくすため、暴力防止のさらなる意識啓発と相談窓口の周知を進めます。また、被害者に対する適切な支援と保護のため、関係機関との連携強化と相談支援体制の充実を図ります。

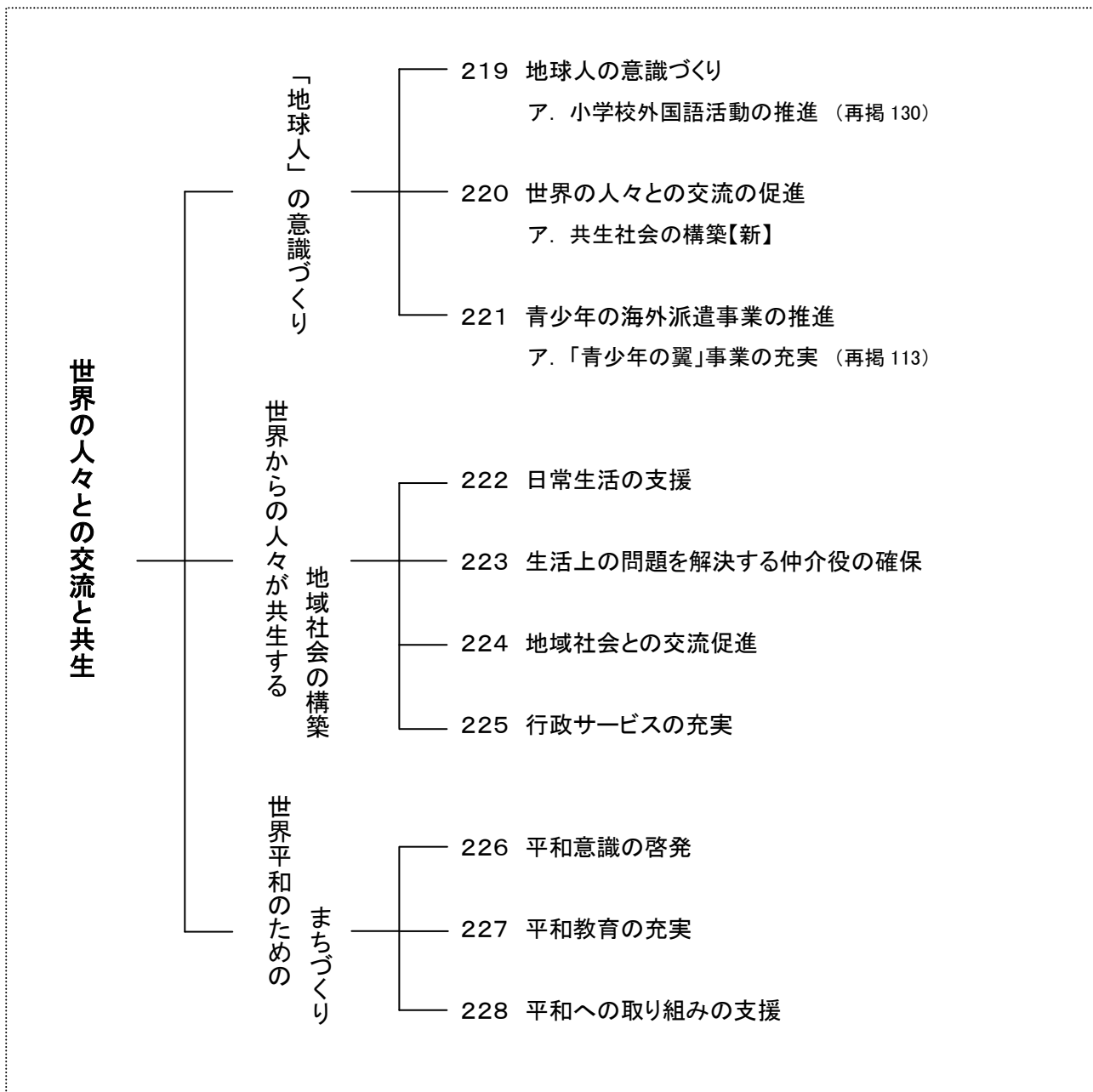
施策コード	218	年次計画		
計画事業内容	30年度(2018年度)	31年度(2019年度)	32年度(2020年度)	
配偶者等からの暴力(DV)被害の拡大防止及び相談事業	講座開催等による啓発活動の実施	同左	同左	
	DV被害者等からの相談の実施	同左	同左	
	配偶者暴力相談支援センターの運営	同左	同左	
	DVネットワーク会議の開催	同左	同左	
事業費	2,179千円	2,179千円	2,179千円	

5 世界の人々との交流と共生

【施策の考え方】

区内に住む世界からの人々が増加しています。環境、平和等地球規模の課題に対して、区民一人ひとりが、同じ地球に住む「地球人」としての発想を持ち、ともに暮らしていける環境を整えます。

【施策体系図】



(1)「地球人」の意識づくり

219 地球人の意識づくり

教員がALT※とともに授業を行うことにより、児童・生徒が、外国語の音声や基本的な表現に慣れ親しむことができるようにし、外国語によるコミュニケーション能力を育成します。

※ALT:外国人英語科指導助手

施策コード	219	年次計画		
計画事業内容	30年度(2018年度)	31年度(2019年度)	32年度(2020年度)	
小学校外国語活動の推進 再掲130	国の動向を踏まえた ALTの配置	同左	同左	
	教育課題実践推進校 の指定 再掲126	同左	同左	
事業費	—— 千円	—— 千円	—— 千円	

「—」:事業費は、小学校外国語活動の推進(施策コード130)の中で計上しています。

220 世界の人々との交流の促進

地域まつりやイベントにおいて、本区の地域性や特長等をPRするとともに、各国の文化の紹介を通じて相互理解の促進に努めます。区内交流団体の実施する交流事業への支援や、区内在住外国人や諸外国からの来訪者と区民との交流機会を拡大します。

また、ワークショップ等の啓発事業を通し、外国人コミュニティと地域との交流拡大を支援することで、より安心で住みよい地域を目指します。

施策コード	220	年次計画		
計画事業内容	30年度(2018年度)	31年度(2019年度)	32年度(2020年度)	
共生社会の構築【新】	イベントの開催、 啓発事業の実施	同左	同左	
事業費	1,391千円	※※※千円	※※※千円	

221 青少年の海外派遣事業の推進

青少年を世界各国へ派遣し、ホームステイや文化体験等の幅広い体験を通して国際感覚を培い、次代を担う人材の育成を図ります。また、青少年の翼に参加した団員が、その後も地域等でさらに活躍できるよう支援します。

施策コード	221	年次計画		
計画事業内容	30年度(2018年度)	31年度(2019年度)	32年度(2020年度)	
青少年の翼事業の充実 再掲113	派遣先 3か国 派遣人数 60名	同左	同左	
事業費	30,090千円	30,090千円	30,090千円	

(2)世界からの人々が共生する地域社会の構築

222 日常生活の支援

世界からの人々が、ひとりの区民として区で安心した生活ができるように、日本語指導ボランティアによる支援をはじめ、日常生活における様々な相談及び生活支援を行います。また、えどがわボランティアセンターとの協働により、様々な活動を行っている民間交流団体、ボランティアの人々等のネットワーク化を図るとともに、効果的な支援ができるように条件整備を進めます。

223 生活上の問題を解決する仲介役の確保

文化や生活習慣の違いに起因する様々な問題について、相互に意見交換し、解決策を見出せるように、地域において仲介役のできる人を確保します。また、トラブルや不当な差別を招くことがないように、情報提供と相談に努めます。

224 地域社会との交流促進

世界からの人々が気軽に地域活動に参加できる、開かれた地域社会づくりを促進し、相互交流を通じて地域コミュニティがさらに活発になることを目指します。

225 行政サービスの充実

永住や就労等の長期滞在者が増加傾向にある中、引き続き子育て・教育・医療・年金等安心して生活するための相談体制や行政サービスをさらに充実していきます。

また、区内在住外国人を対象とした防災情報の外国語によるきめ細かな提供等、関係部署と連携しながら支援を充実していきます。

(3) 世界平和のためのまちづくり

226 平和意識の啓発

水と緑に囲まれた郷土を次世代に守り伝えていくため、生命の尊さと平和の大切さを考える機会をもつことは重要であり、「江戸川区平和都市宣言」の趣旨を踏まえて、平和祈念展示室や各種のイベントなど多様な機会を通じて、区民への本区及び本区以外での平和活動などの取り組みの情報提供と意識啓発に努めます。

227 平和教育の充実

戦争の悲惨な体験をされた人々の話しは、大変貴重な証言であり、様々な機会を通じて、世代を問わず伝えていきます。

228 平和への取り組みの支援

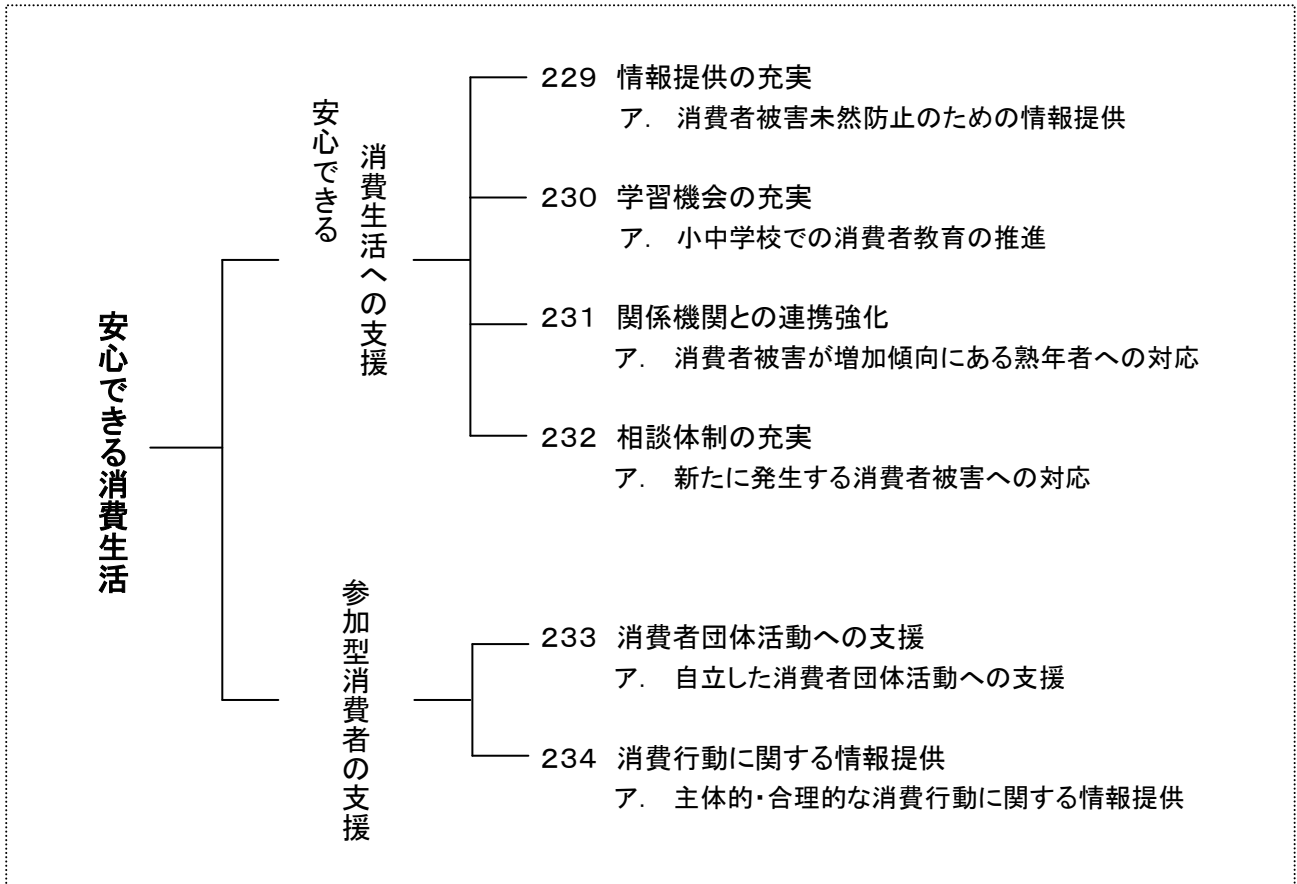
戦争の悲惨さ、生命の尊さなどについて、区民が改めて考える機会を提供すべく、区民の自主的な取り組みを支援していきます。

6 安心できる消費生活

【施策の考え方】

区民の消費生活における被害を防止し、区民が安全に消費生活を営むことができるようになります。また、消費者である区民が自ら主体的・合理的行動をすることにより消費生活の安全・安心を得ることができるようになります。

【施策体系図】



(1) 安心できる消費生活への支援

229 情報提供の充実

講師派遣、ホームページやメールニュース、消費生活情報紙により、消費者被害の事例や被害を未然に防止するための情報提供を行います。

また、区民が消費生活において、適切に商品を選択し、使用・利用できるよう、消費者教育や情報提供を充実していきます。

施策コード	229	年次計画		
計画事業内容		30年度(2018年度)	31年度(2019年度)	32年度(2020年度)
消費者被害未然防止のための 情報提供	講師派遣		同左	同左
	ホームページの運用		同左	同左
	メールニュースの活用		同左	同左
	消費生活情報紙 (Eくらし)の発行		同左	同左
事業費		540千円※	540千円※	540千円※

※「消費生活情報紙(Eくらし)の発行」は、主体的・合理的な消費行動に関する情報提供(施策コード 234)の中で計上しています。

230 学習機会の充実

インターネットを利用したオンラインゲームによるトラブルや架空・不当請求など、小・中学生が対象となる被害の防止のために、小中学校やPTAなどの関係部署と連携し、教材の貸出しや講師派遣を行います。

施策コード	230	年次計画		
計画事業内容	30年度(2018年度)	31年度(2019年度)	32年度(2020年度)	
小中学校での消費者教育の推進	関係部署との連携強化	同左	同左	
事業費	0千円	0千円	0千円	

231 関係機関との連携強化

消費者被害が増加傾向にある熟年者への対応として、熟年相談室・なごみの家・民生委員など熟年者関係機関と連携をとり、見守り体制の充実を図るとともに、リズム運動会場等で対面による消費者被害未然防止の啓発やくすのきクラブ会員へ情報紙「みまもり・ねっと」の配布を行います。

施策コード	231	年次計画		
計画事業内容	30年度(2018年度)	31年度(2019年度)	32年度(2020年度)	
消費者被害が増加傾向にある熟年者への対応	関係部署・機関との連携	同左	同左	
	情報紙「みまもり・ねっと」の発行	同左	同左	
事業費	81千円	81千円	81千円	

232 相談体制の充実

インターネット取引、金融取引等高度化・複雑化する契約・解決困難相談の増加に対して、弁護士による専門的助言を活用するとともに、相談員に研修の機会を提供し、相談へ適切に対応していきます。

施策コード	232	年次計画		
計画事業内容	30年度(2018年度)	31年度(2019年度)	32年度(2020年度)	
新たに発生する消費者被害への対応	弁護士相談の活用	同左	同左	
	関係部署・機関との連携	同左	同左	
事業費	689千円	689千円	689千円	

(2)参加型消費者の支援

233 消費者団体活動への支援

消費者団体が自主的・自立的に活動を展開し、区民の消費生活の向上に寄与できるよう、各種情報提供や学習支援を行います。

施策コード	233	年次計画		
計画事業内容		30年度(2018年度)	31年度(2019年度)	32年度(2020年度)
自立した消費者団体活動への支援		研修会等の実施	同左	同左
		消費生活情報紙(Eくらし)の発行	同左	同左
		協働事業の実施	同左	同左
事業費		61千円※	61千円※	61千円※

※「消費生活情報紙(Eくらし)の発行」は、主体的・合理的な消費行動に関する情報提供(施策コード234)の中で計上しています。

234 消費行動に関する情報提供

消費者教室、ホームページや各種情報紙、イベントにより、自ら主体的・合理的に行動する区民へ情報提供を継続的に実施し、さらなる意識向上を図ります。

施策コード	234	年次計画		
計画事業内容		30年度(2018年度)	31年度(2019年度)	32年度(2020年度)
主体的・合理的な消費行動に関する情報提供		消費者教室の実施	同左	同左
		消費生活情報紙(Eくらし)の発行	同左	同左
		消費生活展の開催	同左	同左
事業費		438千円	438千円	438千円